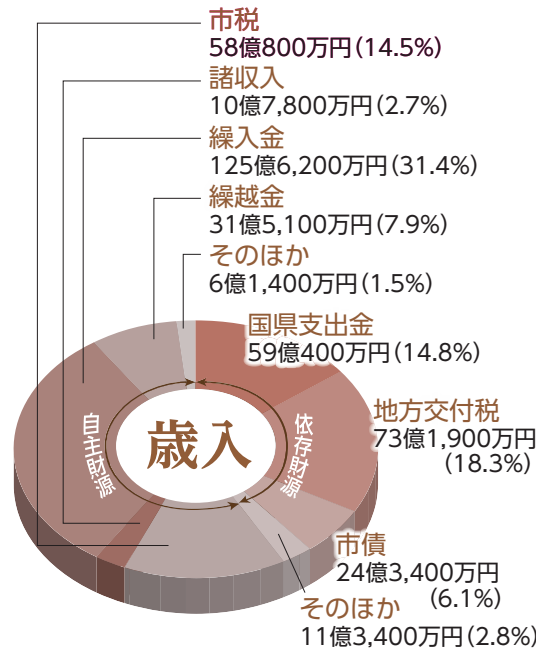
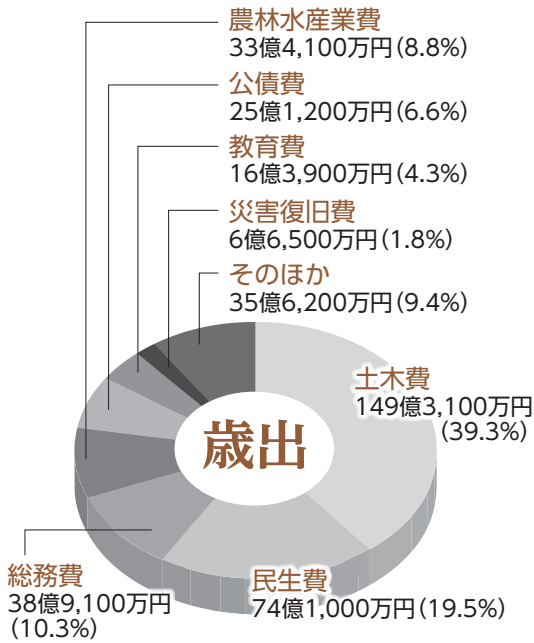


平成28年度 決算概要報告

市の会計は、一般会計・特別会計・企業会計の3種類に分けられます。各会計の平成28年度の決算概要をお知らせします。

歳出 379億5,100万円
前年比55億8,500万円(12.8%)減

歳入 400億600万円
前年比77億4,600万円(16.2%)減



- 【土木費】** 住宅施設や道路整備などの経費
- 【民生費】** 高齢者福祉や子育て支援、生活保護など福祉事業の経費
- 【総務費】** 市税、行革など行政の総合的な運営にかかる経費
- 【農林水産業費】** 農業や水産業振興などの経費
- 【公債費】** 借りたお金や利子の返済の経費
- 【教育費】** 学校教育や生涯学習の経費
- 【災害復旧費】** 道路や漁港などの復旧の経費
- 【その他】** 防災、商工振興、保健などの経費

- 自主財源**
- 【市税】** 市民税や固定資産税など市に収められた税金
- 【諸収入】** 貸付金の返済など
- 【繰入金】** 東日本大震災復興交付金基金からの繰入など
- 【繰越金】** 前年度からの繰越金
- 【その他】** 使用料や手数料など
- 依存財源**
- 【国県支出金】** 国・県が必要と認めた事業に対し配分されるお金
- 【地方交付税】** 人口や税収などに応じて国から配分されるお金
- 【市債】** 施設を造るときなどに借入のお金
- 【その他】** 国から交付される贈与税など

平成28年度の一般会計は、歳入400億600万円、歳出379億5,100万円となり、各種復旧・復興事業の進捗がよく、図られたことで、建設事業の決算額は過去最大規模になりました。

また、歳入歳出差引額は20億5,500万円、このうち、翌年度に繰り越す事業の財源となる分を除くと、8億800万円の黒字になりました。



平成28年度決算は、「復興・創生の年」として、復旧・復興事業が大きく進展したのになりました。

大型復興予算の災害公営住宅整備事業は、市内の災害公営住宅がすべて完成し、被災された皆さんの住環境整備が大きく進展しました。

新魚市場整備事業では、新魚市場が今年10月に全面供用開始になりました。

また、子ども医療費助成事業の対象年齢(中学3年生まで)拡大や、塩竈水産品ICT化事業による流通の効率化・販路拡大を図る取り組みの実施、義務教育9年間の学びの連続性を重視した、小中一貫教育推進事業の立ち上げなどに取り組みました。

歳出
歳出決算額は、379億5,100万円、前年度より55億8,500万円の減でした。

主な内容は、全戸完成を迎えた災害公営住宅整備事業が、72億3,200万円増の82億5,600万円でした。

一方、歳入と連動して東日本大震災復興交付金基金積立金が、23億9,900万円減の11億6,200万円、10月に全面供用開始を迎えた高度衛生管理型荷さばき所整備事業が25億8,900万円減の14億1,600万円でした。

復旧・復興事業の大きな進展
歳入
歳入決算額は、400億600万円、前年度より77億4,600万円の減でした。

主な内容は、復旧・復興事業の進捗によるもので、国県支出金が東日本大震災復興交付金の減などにより59億400万円、地方交付税が震災復興特別交付金の減などにより73億1,900万円減りました。

一方、市税では震災減免の一部終了などにより、4億7,200万円増の58億800万円でした。

しかし、市税は未だ震災前の水準には達しておらず、国庫支出金や地方交付税などの依存財源に頼る状況にあるため、今後も市税を高めようとする自主財源の確保に努める必要があります。



▲清水沢東地区災害公営住宅(1・2号棟)



▲昨年10月に開催された「みなと塩竈ゆめ博」

平成28年度の主な事業

総務費	社会保障・税番号制度導入費 公共施設総合管理計画策定事業	3,200万円 2,100万円
民生費	年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業 子ども医療費助成事業	2億3,600万円 1億4,800万円
農林水産業費	高度衛生管理型荷さばき所整備事業 水産業共同利用施設復興整備事業(補完施設) 新浜地区漁業集落防災機能強化事業	14億1,600万円 5億4,700万円 3億7,900万円
土木費	災害公営住宅整備事業 港町地区津波復興拠点整備事業 北浜地区区画整理関連道路整備事業	82億5,600万円 4億8,300万円 1億9,800万円
教育費	小学校長寿命化改良事業 小中学校施設整備事業	1億7,300万円 5,000万円
災害復旧費	漁港・道路などの災害復旧工事	6億6,500万円
その他	割増商品券事業 塩竈水産品ICT化事業 みなと塩竈・ゆめ博開催事業	4,500万円 3,800万円 2,000万円



総務費
70,798円



民生費
134,828円



農林水産業費
60,791円



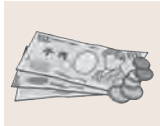
土木費
271,675円



教育費
29,822円



災害復旧費
12,100円



公債費
45,707円

その他
(衛生費
商工費など)
64,812円



市民一人あたりに使われたお金
総額 690,533円
※人口54,959人(平成29年3月31日現在)

財政の健全化に関する指標

4指標とも早期健全化基準以下でした。「実質公債費比率」は、地方債発行の抑制による公債費の減少などにより数値が改善しました。また、「将来負担比率」は、特別会計への繰入見込額の増加で上昇しました。

健全化判断比率	28年度	27年度	早期健全化基準 ※1	財政再生基準 ※2
実質赤字比率 (一般会計などの赤字を示す指標)	黒字	黒字	13.05%	20%
連結実質赤字比率 (全会計の赤字を示す指標)	黒字	黒字	18.05%	30%
実質公債費比率 (借入金の返済費用の割合を示す指標)	10.5%	11.0%	25%	35%
将来負担比率 (一般会計などが将来負担すべき負債の割合を示す指標)	28.8%	18.4%	350%	なし

※1：財政健全化計画を立て、自主的な改善努力が必要となる基準

※2：財政再生計画を立て、国の関与を受け確実な再生が必要となる基準

一般会計に関する問い合わせは
財政課 財政係 ☎ 3555-5814



釜男
そうなんだ。国からの補助金以外にも、行政サービスを支える仕組みがあるんだね。



塩子
そうよ。塩竈市で配られる特別交付税の中には、台風や大雪などの災害に対して配られるものもあるの。



釜男
普通交付税は自治体の行政サービスに差が出ないよう財政力に応じて配られるもの、特別交付税は自治体ごとの特別な事情を考慮して配られるものだよ。



塩子
そうなの。昨年度は地方交付税の決算額のうち震災復興特別交付税が半分以上を占めていたからあまり目につかなかったけど、ほかにも普通交付税と特別交付税があるのよ。



釜男
以前、震災復興特別交付税の話も教えてもらったことを思い出して、地方交付税を調べてただけけど、ほかにも種類があるんだね。

塩子と釜男も気になる
「地方交付税」のはなし

特別会計



まぐい

昨年度に続き、10会計すべてが収支均衡以上となっております。

一般会計からの繰入金は、復興事業の進ちよくななどで、前年度より45億1,900万円減の61億3,600万円でした。今後、安定的な財政運営を図り、健全化に努めます。

特別会計に関する問い合わせは
財政課 財政係 ☎35515814

事業	歳入決算額	歳入のうち一般会計からの繰入金	歳出決算額
交通事業	1億7,800万円	5,700万円	1億7,800万円
国民健康保険事業	73億7,500万円	4億5,400万円	71億8,800万円
魚市場事業	2億8,000万円	4,500万円	2億8,000万円
下水道事業	119億1,200万円	42億100万円	97億4,600万円
漁業集落排水事業	5,400万円	3,900万円	2,600万円
公共用地先行取得事業	1億4,300万円	1億4,300万円	1億4,300万円
介護保険事業	51億2,000万円	7億2,400万円	51億1,500万円
後期高齢者医療事業	6億7,800万円	1億6,700万円	6億7,300万円
北浜地区復興土地区画整理事業	3億9,500万円	1億4,300万円	2億6,100万円
藤倉地区復興土地区画整理事業	1億7,900万円	1億6,300万円	9,700万円
合計	263億1,400万円	61億3,600万円	237億700万円

水道会計



シオンちゃん

健全経営の確保

収益的収支(税抜) ※1

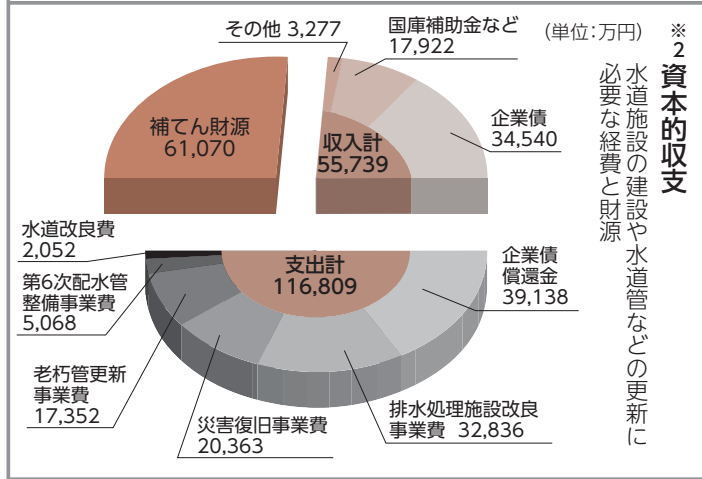
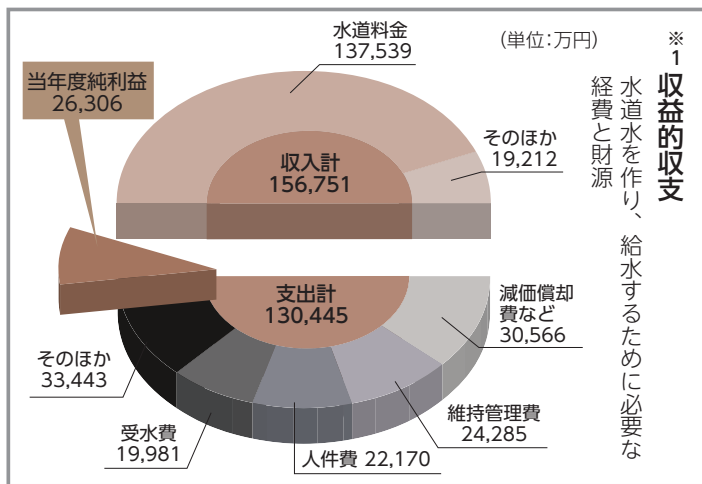
収入は15億6,751万円、支出は13億4,455万円で、2億6,306万円の黒字が生じました。

資本的収支(税込) ※2

収入は5億5,739万円、支出は11億6,809万円で、6億1,070万円の資金不足を生じましたが、留保資金などで補てんしました。

利益剰余金

平成28年度決算では、利益剰余金が17億9,522万円でした。



災害に強い水道の整備

水道施設などの災害復旧工事として、平成27年度の繰越事業で寒風沢、桂島地区の2路線(延長1,022.5m)、平成28年度事業で貞山通二、三丁目地区の1路線(延長914.8m)の配水管敷設替工事を行いました。

また、安心安全な給水を図るための第6次配水管整備事業として、栄町、月見ヶ丘地区(延長255.3m)の配水管敷設替工事を行いました。

さらに、管路の耐震化を図り、災害に強い水道管路の構築を図る老朽管更新事業として、本町、新富町、桜ヶ丘、牛生町、芦畔町、笠神地区の6路線(延長1,185.0m)の配水管敷設替工事を行いました。



▲耐震化した配水管への敷設替工事

排水処理施設の更新

排水処理施設更新事業として、梅の宮浄水場で発生する汚泥を処理するため、排水処理施設を2力年(平成28～29年度)で更新しました。

平成28年度は、加圧式脱水機の製作や汚泥貯留槽流入ゲート据え付けなどを実施しました。

また、電気計装類更新事業として、梅の宮浄水場および各配水池の電気計装の老朽化に伴う更新工事の詳細設計を委託しました。

今後も生活環境を支える水道の安定供給のため、水道施設の耐震化や老朽化した施設の更新に努めます。

水道会計に関するお問い合わせは
水道部業務課 経理係 ☎36411415



漢しお姫

決算概要

収益的収支(税抜)表①

収入総額29億1,860万円、支出総額29億7,722万円、28年度損益は5,862万の純損失でした。

資本的収支(税込)表②

収入総額2億2,039万円、支出総額2億7,366万円、不足額5,327万円、留保資金で補てんしました。

収益的・資本的収支 前年度比較

表② 資本的収支(設備投資) (単位:万円)

	28年度	27年度	前年差
総収入 A	22,039	10,549	△11,490
一般会計からの負担金・補助金	3,409	7,919	△4,510
企業債・長期借入金	18,630	2,530	16,100
国県補助金など	0	100	△100
総支出 B	27,366	32,407	△5,041
建設改良費	19,294	3,117	16,177
企業債償還金	5,922	25,640	△19,718
長期借入金償還金	2,150	3,650	△1,500
差引 A-B	△5,327	△21,858	16,531

表① 収益的収支(事業運営費) (単位:万円)

	28年度	27年度	前年差
総収益 ①	291,860	310,240	△18,380
医業収益	255,637	250,901	4,736
医業外収益	36,223	33,483	2,740
特別利益	0	25,856	△25,856
総費用 ②	297,722	296,037	1,685
医業費用	288,726	288,484	242
医業外費用	8,370	7,518	852
特別損失	626	35	591
当年度純利益 ①-②	△5,862	14,203	△20,065

新改革プランに基づく取り組み

「塩竈市立病院新改革プラン(平成28(32)年度までの5カ年計画)」を策定し、当院の果たすべき役割を明確にし、医療機能に係る目標(※1)と経営の効率化(※2)の達成を目指し、収入確保と費用削減に取り組みました。

主な収入確保の取り組み

- ・ 他院からの転入院の受け入れ
- ・ 患者満足度調査の実施
- ・ 外来採血開始時間繰り上げによる外来待ち時間の短縮

主な費用削減の取り組み

- ・ 後発薬品導入による薬品費の削減
- ・ 診療材料などの検討組織立ち上げによる診療材料費などの削減

医療機器整備と施設改良事業

診療の効率化を図るため医療機器を整備したほか、快適な療養環境の提供のため、施設改良を行いました。

医療機器整備

内視鏡システム、ポータブル心電図計、耳鼻科オージオメータ・インピーダンスオージオメータなどの更新、電動ベッドの整備

施設改良

外来棟トイレの改良工事、中央材料室エアコン設置工事、エレベーター更新事業

※1 医療機能に係る各種数値目標の達成状況

医療機能	果たすべき役割	項目	H27	目標	H28	目標差	達成率(%)
急性期医療	救急患者の受入 急性期病棟の維持	1 救急患者受入件数(件/年)	1,044	1,000	828	△172	82.8
		2 手術件数(件/年)	283	240	288	48	120.0
		3 うち全身麻酔件数(件/年)	178	150	188	38	125.3
		4 内視鏡検査件数(件/年)	3,003	2,800	2,810	10	100.4
		5 内視鏡治療件数(件/年)	266	240	272	32	113.3
		6 CT検査件数(件/年)	3,362	3,240	3,225	△15	99.5
		7 MRI検査件数(件/年)	1,379	1,500	1,169	△331	77.9
回復期医療	在宅復帰支援	8 在宅復帰率(%)	88.0	80.0	90.4	10.4	113.0
在宅医療	在宅医療の充実	9 訪問診療件数(件/年)	1,562	1,600	1,820	220	113.8
		10 訪問看護件数(件/年)	2,570	2,600	2,776	176	106.8
		11 訪問リハビリ件数(件/年)	2,927	3,000	3,132	132	104.4

※2 経営の効率化に係る各種数値目標の達成状況

項目	H27	目標	H28	目標差	達成率(%)
1 病床利用率	86.6	93.9	86.1	△7.8	91.7
2 1日当たりの入院患者数(人/日)	139.4	151.3	138.6	△12.7	91.6
3 入院患者1人1日当たりの入院診療単価(円)	29,663	29,105	29,820	715	102.5
4 1日当たりの外来患者数(人/日)	247.4	276.3	235.7	△40.6	85.3
5 外来患者1人1日当たりの外来診療単価(円)	12,564	10,800	12,790	1,990	118.4
6 紹介患者数(人/年)	1,279	1,500	1,456	△44	97.1
7 人間ドック件数(件/年)	2,443	2,400	2,665	265	111.0
8 脳ドック件数(件/年)	219	150	215	65	143.3
9 健康診断件数(件/年)	4,227	4,300	4,188	△112	97.4

信頼され、地域が求める病院として誠意を尽くし、貢献します

地域医療として必要とされる急性期医療、回復期医療、慢性期医療、在宅医療のすべてに対応し、塩釜地区唯一の公立病院として、地域に必要とされる医療を提供します。

①「救急指定病院」、「塩釜地区休日急患診療担当二次病院」として、24時間、良質な医療を提供します。

②「在宅療養支援病院」として、24時間体制の在宅医療サービスを提供し、看取りにも対応します。

③定期的に公開セミナーを開催し、医師および医療スタッフが、病気に関する身近な情報を発信します。



「公開セミナー」生活習慣病など、さまざまなテーマで、セミナーを開催

病院会計に関するお問い合わせは市立病院業務課経理係 ☎364-15521